

【出品状況】

部門	一般出品数	入選数	特別出陳	総陳列数
日本画	14	14	3	17
洋画	53	53	10	63
彫刻	5	5	6	11
工芸	31	31	7	38
書	32	32	12	44
写真	78	78	9	87
イラスト	21	21	1	22
合計	234	234	48	282

※特別出陳・・・審査員、出品委嘱者、市展委員、無鑑査資格者、故人

【審査員】（敬称略）

- 日本画 西田 真人 （日展特別会員、大阪芸術大学客員教授）
洋画 黒川 彰夫 （二科会会員(理事)、嵯峨美術大学名誉教授）
彫刻 笹山 幸徳 （日展特別会員、兵庫教育大学名誉教授）
工芸 井隼 慶人 （日展理事、京都市立芸術大学名誉教授）
書 岡本 藍石 （日展準会員、読売書法会常任理事）
写真 柳原 香 （二科会写真部会員、兵庫県写真作家協会委員長）
イラスト 上原 結子 （成安造形大学非常勤講師）

【批評会】 令和5年11月18日(土) 15:00 ～
キラリエ草津(市民総合交流センター) 5階/6階

【表彰式】 令和5年11月18日(土) 16:00 ～
キラリエ草津(市民総合交流センター) 1階 多目的室

【後援】（順不同）

朝日新聞大津総局・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局
産経新聞社・中日新聞社・京都新聞・NHK大津放送局・KBS京都
BBCびわ湖放送・株式会社えふえむ草津・草津市教育会・草津商工会議所
草津ライオンズクラブ・草津ロータリークラブ・草津美術協会
草津市21世紀文化芸術推進協議会・草津市国際交流協会

市展賞

日本画



《六月の庭》
丸山有子

写真



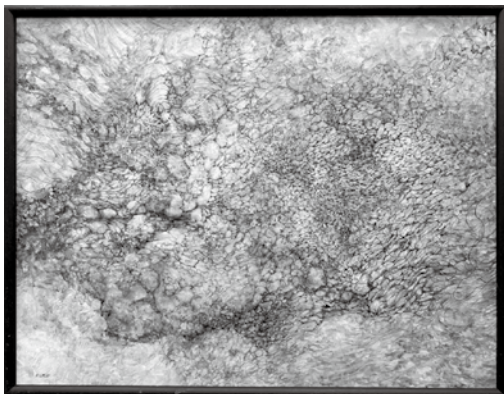
《泥状戦士》
藤原厚士

彫刻



《静かな鼓動》
高島 悠

洋画



《気配》
石橋国夫

書

《湖山応に
夢みるべし》
西川 文



工芸



《化石発掘》小曾戸昇林

優秀賞

イラスト



《神の国への旅道中》配川ちひろ

日本画

配置順	賞名等	題名	氏名
1		君は今	西野 薫
2		参道	園 滋
3	市展賞	六月の庭	丸山 有子
4	特選	一番星	仲川 千秋
5	草津市21世紀文化芸術推進協議会会長賞	夢と歩く	草川 京子
6	市展委員	果実-水尾-	吉岡 佐知
7	審査員	雨ニモマケズ	西田 真人
8	市展委員	水に光る	早川 裕子
9		ひまわり	大谷 真由美
10	中日新聞社賞	秋の音	扇 里砂子
11	市展デビュー賞	ゆるりと	平井 七海
12		枯野の道	後藤 寛治
13		円舞	太田 由紀子
14		竹林の小径	中川 きよ美
15	佳作	玉章伸びる	眞野 滋夫
16	佳作	伯母川	奥野 幸一
17		冬の高千穂峡	前田 澄子

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

洋画

配置順	賞名等	題名	氏名
1		晩秋の大山	中西 利夫
2		初夏の伊根	佐本 三重子
3		清流	中井 忠男
4	佳作	ヤマボウシの花	四方 勉
5		椴皮	田中 美智子
6		水の森	山田 ひで子
7		茂れる夏	藪内 和子
8	草津美術協会会長賞	水澄む頃	加藤 房江
9	佳作	蓮池	林家 清子
10	佳作	頭骨のある一隅(菅浦集落にて)	溝辺 行雄
11		休憩	中西 淑子
12		春の訪れ	伏木 章雄
13		田植えの頃	熊谷 幸正

配置順	賞名等	題名	氏名
14		高原の妖精たち	石川 由紀子
15		たそがれ時	山本 清子
16		十勝の秋	井上 政憲
17	市展委員	刻音'23	山元 敏子
18	市展委員	早苗田	森 邦博
19	審査員	序幕'23-33	黒川 彰夫
20	出品委嘱	遠き日(エスキース)	岡島 春美
21	市展委員	復活の街	矢野 信司
22	無鑑査	茅ぶきの郷	櫻原 喜六
23	無鑑査	遊びの時間	木村 順一
24	無鑑査	湖畔	小山 万亀子
25	無鑑査	春の風	中村 悦子
26	市展賞	気配	石橋 国夫
27	産経新聞社賞	晩秋の風物詩	河合 千恵子
28	無鑑査	春日	和田 さち子
29		林の中の小径	大西 隆夫
30	佳作	d-世界を表現する	岸田 章弓乃
31	草津市教育会会長賞	ドライフラワー・ピン	増山 恵子
32	えふえむ草津賞	『ロマネスコ』-想-	福原 光子
33	佳作	真夏の夜の夢	今井 文子
34	佳作	春。らんまん	村上 陽子
35		窓	川端 美知子
36		私たちは、生きる	塚本 薫三
37		心の故郷	中野 幸子
38	草津商工会議所会頭賞	晩夏	福原 和人
39	佳作	郷土の花(滋賀)	野崎 かおる
40	市展デビュー賞	慈光院石段	竹内 多佳子
41		コリウスの夢	大森 治
42		穏やかな日常	鎌田 和江
43		大溝城の外堀橋	村瀬 章高
44		穴太積み	藤井 康彦
45		みんな違ってみんないい	阪田 恵美
46	佳作	ヨシの中の小舟	札本 倫子

工芸

配置順	賞名等	題名	氏名
47		残り柿	古川 富美子
48	特選	滝	吉田 安今巳
49	佳作	青い街	安原 篤司
50	佳作	黄昏に溶けて	蓮見 美穂
51		花魁	掛田 靖
52		堅田の落雁	堀井 信彦
53		記憶の軌道	高田 信
54		ある日の思考	平野 有希
55		星降る花園	今井 愛望
56		コンポジション2023(天翔ける兆し)	讃岐 英知
57		吹雪く安曇川湖畔	三浦 武弘
58	KBS京都賞	茅ぶきの一軒家	油谷 えつ子
59	佳作	滝の如く	白井 あや子
60		金剛宝菩薩像	中川 きよ美
61		冬の比良山	湯ノ口 敏雄
62	佳作	giraffe	佐藤 裕
63		こっちの水は…。	前田 英雄

配置順	賞名等	題名	氏名
1		葉の格子にブギウギ画	山本 紀久子
2		刺繍手まりと糸かけ 曼荼羅	芳賀 隆弘
3	佳作	水中都市	吉田 俊明
4	京都新聞賞	風紋	馬場 恵子
5	市展デビュー賞	陶器のキルト	山本 しのぶ
6		旅の思い出	伏木 利子
7		wish(願い事)	加地 景子
8		Cool Guy	長田 快
9		天空ガーデン	森田 幸子
10		蓮に蛙	奥井 照夫
11		竹とうろう“ふじ娘”	井口 勝
12		桜(義母に見せたい景色)	藤本 信也
13		腕付花入	家島 健二
14		十角小箱	高市 一彦
15		リュクサンプール	福田 ちず子
16		花	矢木 清美
17		湖の雫	鎌田 和容
18	特選	抱腹絶兎	大久保 樹
19		旋舞	若槻 伸一
20		パナマからの贈り物 パートII	河尻 千恵子
21		反転熊	木村 大地
22		三角柱と横穴のコラボ	望月 眞寸男
23	佳作	焼締め推線文扁壺	寺西 健二
24		どうびん	片岡 正繁
25		らせん住宅	朝見 杏映
26	市展賞	化石発掘	小曾戸 昇林
27	滋賀県芸術文化 祭奨励賞	重ね銅羅鉢(青風の Rond)	末岡 京子
28		tree of happiness	木下 ゆみか
29		早春賦	内藤 三保子
30		響	森貞 豊子
31	特別出品	ピアノ曲 水の根	酒井 榮一
32		祈	釜屋 明和
33	市展委員	TOWER	三原 サダ子

彫刻

配置順	賞名等	題名	氏名
1	佳作	動植物	木村 順一
2	市展デビュー賞	昭和 し・あ・わ・せ	河尻 千恵子
3	市展賞	静かな鼓動	高島 悠
4	出品委嘱	ニット帽	嶋畑 貢
5	特選	我念	三原 敏夫
6	朝日新聞社賞	日蓮	北川 良一
7	市展委員	たたずむ	石田 秋次
8	無鑑査	闘	伊庭 照実
9	審査員	少女	笹山 幸徳
10	出品委嘱	川中島の眩驚(エスキー ス)	土田 隆生
11	市展委員	天平の青年立像	伊庭 靖二

配置順	賞名等	題名	氏名
34	出品委嘱	赤彩ふた器	片山 雅美
35	出品委嘱	雪解	高橋 政男
36	審査員	鶏頭晩夏	井隼 慶人
37	無鑑査	静寂の時間	江川 勝子
38	市展委員	湖辺	下川 まち子

書

配置順	賞名等	題名	氏名	雅号
1		漢詩	竹村 弘子	弘蕙
2		崔元翰詩	吉川 幸子	幸子
3		漢詩	澤井 富江	富蕙
4		過枝江縣	宮崎 誠司	海山
5		漢詩	中嶋 文子	湖響
6		送戴教授北行	徳本 恵子	恵彩
7		王叔舟詩	新庄 さとみ	
8		境上人に贈る	馬場 愛子	愛雲
9	佳作	還至端州駅前與高六別処	奥村 守男	守峰
10	市展委員	春暁	中村 徹	徹堂
11	出品委嘱	随縁	岡田 優三	祖翠
12	審査員	酔後落筆	岡本 了壽	藍石
13	出品委嘱	幽棲出塵表	山本 清一	南竹
14	市展委員	和敬清寂	今居 潤子	青桃
15	佳作	題湖州慈感寺	相宗 真理	真翠
16		解縉詩	倉崎 富司	鳴泉
17	市展委員	澄懷屏塵廬	川添 裕子	翠湖
18	無鑑査	七言二句	及川 淳子	青湖
19	無鑑査	七言絶句	徳地 比佐美	湖咲
20	無鑑査	槐安国語の一節	長谷川 久枝	桂園
21	無鑑査	岩かげ	中島 弘子	翠湖
22	無鑑査	風琴萬壑松	小倉 緑	翠苑
23	無鑑査	太田鴻村の句	小野澤 絹代	蕙湖
24	佳作	七言句	小寺 厚子	
25	佳作	み吉野	長谷川 豊博	
26		五言律詩	坂口 美智子	美峰

配置順	賞名等	題名	氏名	雅号
27		白居易二首	奥村 和子	和蕙
28	佳作	七言絶句	中島 民恵	
29	佳作	郭鈺詩	本坊 昌代	芳香
30	草津ロータリークラブ会長賞	客中秋夜	田中 俊一	叡峰
31	特選	東山	三浦 久美子	清舟
32	市展賞	湖山応に夢みるべし	西川 文	文苑
33	草津市議会議長賞	瞿佑詩	渡辺 嘉奈子	嘉香
34	読売新聞社賞	秋風	横山 郁恵	
35	市展デビュー賞	王士禛詩	西川 實智子	
36		臨書	荒谷 怜実	
37		漢詩	久保 敦子	紫湖
38		唐詩月到千家静	澤本 なつ子	奈香
39		漢詩	我孫子 弘子	弘湖
40		七言句	駒井 貞子	
41		重陽の節句から「杯中 山影分秋色」	多田 功一	翠功
42		臨書	相井 琉希	
43		漢詩	山脇 由美子	
44		漢詩	亀井 よし子	佳芳

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

写真

配置順	賞名等	題名	氏名
1		貿易風	杉立 好正
2		初冬	山本 靖幸
3		初秋の景色	佐々江 勝
4	佳作	心・華やぐ	中嶋 和江
5		怒涛	西川 美恵
6	佳作	寒い朝	藤本 義隆
7		続くみち	高岡 雅子
8		八十八夜	詫間 秀夫
9	佳作	威嚇	川端 清志
10		出番前	山本 照夫
11		これ位さ	河野 一友
12	佳作	睨み	林 久雄

配選順	賞名等	題名	氏名
13		祭りの合間	青木 宏樹
14		静寂	和田 義孝
15		Fashion Town	釜我 博康
16		子育て真っ最中	仲野 隆
17	草津市教育長賞	ゲット	小川 武司
18		時雨転翼	池田 秀彦
19	佳作	宇宙からの使者	川越 久聖
20		激闘	杉谷 幸雄
21		屋下がり	中村 友美
22	毎日新聞社賞	また来てね!	本田 昭夫
23	出品委嘱	湖岸晩秋 びわこ菅浦にて	西岡 伸太
24		空飛ぶ車	荻野 利子
25	草津市国際交流協会会長賞	朝の宿場	西山 秀一
26	審査員	雨後	柳原 香
27	市展賞	泥状戦士	藤原 厚士
28	草津ライオンズクラブ会長賞	粉雪まとして	丸田 良則
29		獅子の舞い	鈴木 栄子
30	BBCびわ湖放送賞	風立ちぬ	藤田 文子
31		らんまん	北山 忠
32		秋空へTake Off	樋口 浩司
33		虫おくり	山田 幸子
34		野性の記憶	北垣 節子
35	特選	山里の冬模様	寺田 吉廣
36	NHK大津放送局長賞	ラストコーナー	平田 永文
37		秋彩水鏡	佐々野 京子
38		雨のち快晴	倉田 幸雄
39		16時の参道	中山 辰夫
40	市展委員	お披露目	高谷 禮子
41		悠久の水音	吉田 利男
42	佳作	ゴージャスに盛夏	中村 若枝
43		支える	谷口 忠臣
44		競う	小林 正治
45		微笑み	中村 高朗

配選順	賞名等	題名	氏名
46		稚児出番前	小寺 勝久
47		散歩	原 慎一郎
48		炎空	松田 奉子
49		残照	今野 俊和
50		ワタシモオテマエヲ	木下 博司
51		商い中(哲学の道)	中川 文二郎
52		WORKMAN	久島 正博
53		輪廻の季	山田 力
54	無鑑査	ファンタジー(ある空間)	尾崎 良一
55	無鑑査	早暁	二宮 紀彦
56	無鑑査	今も昔しも	木村 正司
57	無鑑査	秋色	山本 敏夫
58	無鑑査	海に遊ぶ	寺尾 幹男
59	無鑑査	誘う	山元 國一
60		百花繚乱	房安 幸夫
61		祭りの親子	小松 弘子
62		困炉裏端	西谷 國雄
63		ギラリ	木村 孝一
64	佳作	陰翳	福島 正則
65		流木	野村 昭夫
66		ウェディング	伊吹 達郎
67		手筒終炎	荒川 道一
68		夕映のシルエット	鈴鹿 竹二
69		輝跡	稲田 義雄
70		平湖の朝桜	赤井 春雄
71		冬灯	西江 克次
72		万華鏡	長谷川 せつ子
73		都心にしんしんと雪降りつむ	藤村 武興
74		猛暑日	岡本 展彦
75		夢の終り	松村 里子
76		見守る	田中 博文
77		目覚め	田村 昌也
78		静寂	寺田 裕彦

配置順	賞名等	題名	氏名
79		初冬	高橋 勲
80		曼珠沙華に包まれて	中野 貴夫
81		湖のキャンパス	植田 信子
82		ガラスの世界	吉村 英光
83		羽衣の舞	杉谷 真人
84		突風	谷井 弘易
85		華の舞	吉村 紀夫
86		小雪舞う朝	前田 鉄矢
87		能登はいらんかいね!	園田 みちゑ

イラスト

配置順	賞名等	題名	氏名
1		ミサゴネ	牧岡 幸来
2		深更の神社	木村 百花
3	佳作	昼と夜の天使	宮本 奈緒
4		日暮れ	久松 優来
5		1人と1匹	安達 耕大朗
6		休暇	宮澤 咲音
7	優秀賞	神の国への旅道中	配川 ちひろ
8	佳作	マリオネットの少女	廣田 愛実
9		テミスの声	山本 真里奈
10		夜をかける機巧少女	門岡 勇太
11		楽しいイラスト	園田 稔
12		私の気持ち	林 瑛音
13		HEART ROCKER	岩本 華歩
14	佳作	ダニトラムがまいます	宇野 温子
15	佳作	幻想MADO	堤 啓太郎
16		過ぎ行く時のはやさを想う	渡嘉敷 裕夏
17		月明かり	今井 愛望
18	佳作	曲芸するワニ	西生 春輝
19		no one	我孫子 蒼
20		階段で佇む二人の少女	東郷 綾音
21		憩い	高谷 俐々可
22	審査員	ずっとともだち	上原 結子

日本画

(審査員) 西田 真人

○総評

出品作品の印象は本年からの審査で、前年との比較はできませんが、日本画定番の題材にこだわらず、自由な発想で描かれている作品が多く、好感を持ちました。ただ技術面では、まだ経験の浅い方が多いのかとも思いました。墨絵も手本を写したようなものではなく、今後写生に裏付けされた墨の魅力を感じさせる作品が増えることを期待します。

○市展賞

「六月の庭」 丸山 有子

全体を明るい灰色の調子でまとめた落ち着いた色彩が美しいです。背景の処理として画面上部は雰囲気のある空気感がありますが、背景下部の処理や葉の描写などに、やや荒さがあるのが、私は気になりました。

○特選

「一番星」 仲川 千秋

夜闇に明るく浮かびあがる、片付けられたお店らしき屋内の描写に趣があり、深まってゆく夜の静寂を感じさせます。題名を確認するまではもっぱら上記の描写に惹かれました。

○特選 (草津市 21 世紀文化芸術推進協議会会長賞)

「夢と歩く」 草川 京子

優しい雰囲気ながらコントラストの効いた画面で技術的にも安定感があります。作品が少し小振りですが、この賞となりましたが、次回は是非、もう少し大きな作品に挑戦してください。

○特選 (中日新聞社賞)

「秋の音」 扇 里砂子

画面に色彩豊かに盛りだくさんなモノが描かれているのが作品の力にもなっていますが、やや雑然とした印象にもなっています。省略すること、主観的な色彩など今後の課題かと思えます。

洋画

(審査員) 黒川 彰夫

○総評

初めて草津市展の審査を担当させていただき、油彩が意外と少なく思いました。その反面、水彩画のいい作品が見られました。各作品共自然描写を重んじ、そこから独自の表現へと発展させていく姿勢に好感が持てました。常に自分の表現に自信を持って制作することは大切なことです。

○市展賞

「気配」

石橋 国夫

油彩の作品の中で特に目を引く表現で、絵の具の使い方が美しく、自分の意図を的確に表現している点が見るものに安心感を与えます。表現の繊細さが、うまく画面構成に生かされ、いい作品になりました。

○特選

「滝」

吉田 安今巳

水彩画の利点を生かし、細かな表現をしていますが、全体の構成がしっかりして大きな動きになっています。流れる水の表現、岩の大小の表現と、画面構成を確かなものとしています。岩の色、明暗の調子も変化があり、うまく表現されています。

○特選（草津美術協会会長賞）

「水澄む頃」

加藤 房江

今回の出品作の中で、造形的な作品で、何かこの先に期待出来るものを感じました。自分の中で表現すべき所、省略すべき所を描き分け、独自の世界観を持った作品になりました。

○特選（産経新聞社賞）

「晩秋の風物詩」

河合 千恵子

細かな表現にならず全体の構成をうまくとらえています。干し柿の表現、土壁の表現と質感を感じさせる描き方で画面に安定感を与えています。光の方向も的確に表現され、平面的にならず変化をもたらしています。

○特選（草津商工会議所会頭賞）

「晩夏」

福原 和人

構想表現的な作品です。多数の要素を入れていますが、それぞれが全体の構成要素をくずさず描き分けができて、いい作品になりました。絵の具の使い方も優れています。

○特選（KBS 京都賞） 「茅ぶきの一軒家」 油谷 えつ子

細かな表現でありながら、全体の大きな色面が表現され、絵に重厚感を与えています。手前に柿の木を配した構図が平凡になりがちな画面をすくっています。茅葺きの表現に少し破たんがある所が気になります。

○特選（草津市教育会会長賞） 「ドライフラワー・ビン」 増山 恵子

大胆な表現で描かれた作品です。形がどのと云う事ではなく、自分の思うまま感じるまま表現されたもので、見るものが楽しくなる作品です。静物それぞれの動きがおもしろく表現されています。この大胆さを今後に活かしてください。

○特選（えふえむ草津賞） 「『ロマネスコ』-想-」 福原 光子

幻想的な場面を表現したものです。色のにごりが暗い雰囲気を表している事が成功しています。物語の神秘性を強く感じる作品になりました。

彫刻

(審査員) 笹山幸徳

○総評

世界に暗いニュースが続いているなか少しでもこころ休まるひとときが欲しいものです。今回の展覧会は材質・技法ともに多様であり個性豊かな作品が多く、また特別出品の質の高い作品が花を添え、充実した展覧会になりました。文化芸術の秋を楽しんでください。

○市展賞

「静かな鼓動」 高島 悠

素朴で誠実な裸婦像で好感が持てます。上部の量感がもう少しあるともっと豊かな作品になりそうで今後は楽しみな秀作です。

○特選

「我念」 三原 敏夫

人体を平面的にとらえ自由に楽しく構成した個性的な作品です。平面的でありながら強さがあり心地よさがある秀作です。

○特選（朝日新聞社賞）

「日蓮」 北川 良一

木彫の日蓮像が精巧に彫られ高い精神性と充実した技量を感じさせる作品です。

工芸

(審査員) 井 隼 慶 人

○総評

昨年よりも2点出品作品が減りましたが、作品全体の内容としてそれぞれ作者の気持や発想が作品の中に生きていました。会場全体を見れば今迄とは異なる表現のあり方や今の時代を思考する取り組みが見られ、純度の高い作品展となりました。

○市展賞

「化石発掘」

小曾戸 昇林

現代の世相とは異なり、人間のみが捕えられる時間の問題を考えさせてくれる制作です。量感豊かで創造性豊かな作品で、色彩のみならず土の質感も表現の内容に近い雰囲気を生み出しています。

○特選

「抱腹絶兎」

大久保 樹

ことば遊びから生まれた制作で、思いもよらぬ所から言葉の発想が生まれ、思わぬ造形につながり、大変ユニークな形態に変化しています。あそび心豊かな造形と言えます。又、空間の有り方も大変自由です。

○特選 (京都新聞賞)

「風紋」

馬場 恵子

絞り染め技法が表現に大きく働きかけ、見る者を豊かな想像の世界に導いてくれます。単純な染め方ゆえに幅広い、イメージの世界に導いてくれる作品です。

○特選 (滋賀県芸術文化祭奨励賞) 「重ね銅羅鉢 (青風のロンド)」 末岡 京子

皿1枚ずつにはそれぞれ楽しくおもしろい図柄が施されているがその各パーツの皿として組み合わせることにより、より豊かな楽しい食器として考えられています。色彩も単一色であるが色々の色彩をも感じられます。

書

(審査員) 岡本藍石

○総評

今年度も努力を重ねて出品された作品の中から地力のある作品に賞をつけました。賞作品の完成度も高くなって来ていると思います。また年齢の若い方も出品され、熟年層と共に盛上げて頂き層の広さを感じました。創作とは形の無いところから形が見える物を創り出す難しい事です。次回もまた力作を期待いたします。

○市展賞

「湖山応に夢みるべし」西川 文 (文苑)

縦三行に七言律詩を古典を基に流麗に書きまとめた作です。行間の余白も美しく、紙面のバランスも素晴らしく、運筆の速度の変化も見られ楽しく見られました。

○特選

「東山」

三浦 久美子 (清舟)

ダイナミックな運筆は力強く直線的な字形と行の流れが美しく、左への展開を生んでいます。盛上りの工夫もあり、美しくまとまりました。

○特選 (草津市議会議長賞)

「瞿佑詩」

渡辺 嘉奈子 (嘉香)

正方形に四行に表現することは大変難しい仕事です。行の広がりで行間の美、一字一字の充実感が有り、整然とした美しい作品です。

○特選 (読売新聞社賞)

「秋風」

横山 郁恵

六枚の紙片に落ち着きのある運筆でまとめた作品です。散らし書きも楽しく見られます。帖や卷子にも通じる趣もあり好感がもてます。

○特選 (草津ロータリークラブ会長賞) 「客中秋夜」

田中 俊一 (叡峰)

五言絶句をいかに収めて書くか。各行への配置の字が作品の仕上がりを左右します。各行ともに伸やかに明るく書き上げた作品です。爽やかな線が目を引きまます。

写真

(審査員) 柳原香

○総評

各地の行事やイベントも復活し、撮影範囲も広がり、行事をテーマにした作品が少し増えたような印象を受けました。写真に対する熱意と撮影時の作者の感動がしっかりと伝わってくる作品が数多くありました。被写体との出会いが一番ですが、そこに作者の思いを吹き込み五感で感じる、余韻の残る作品を期待したいと思います。

○市展賞

「泥状戦士」 藤原 厚士

どろんこバレーの1シーンでしょう。画面から主役の男性が飛び出してきそうな迫りがあります。カメラアングルもよく、モノクロ表現で色を省略したため、より力強い作品になりました。

○特選

「山里の冬模様」 寺田 吉廣

消雪パイプから吹き出る水と電線とのコラボレーションです。遠景の青い屋根の民家も効果的です。画面を青、白、黒の三色だけでまとめ上げ、絵画的な表現もタイトルの「山里の冬模様」から作者のねらいが明確です。

○特選 (草津市教育長賞)

「ゲット」 小川 武司

白サギが鮎を捕えた一瞬を撮影、これこそ写真の醍醐味です。生きて行くための摂理が端的に表現され、白サギのするどい眼が印象的です。

○特選 (毎日新聞社賞)

「また来てね！」 本田 昭夫

ご婦人の表情がなんとも言えません。この1枚で、このお方のお人柄まで想像出来そうです。撮影者との信頼関係があるからこそこの作品です。思わず観るものまで笑みが浮かんできます。

○特選 (草津ライオンズクラブ会長賞)

「粉雪まとして」 丸田 良則

メタセコイア並木の冬の幻想的な光景。画面中央に雪をまとった繊細な小枝を配した構成も的確でした。

○特選 (BBCびわ湖放送賞)

「風立ちぬ」 藤田 文子

現実とは離れた光景ですが、合成により作者のイメージがより強調されています。この1枚が導入口となり、観る者を物語の中に誘ってくれるかのようです。

○特選（NHK大津放送局長賞） 「ラストコーナー」 平田 永文

背景で季節も感じられ、光の捉え方が上手く、より立体感が表現されました。バイクの音まで届いてきそうな臨場感、迫力のある作品です。

○特選（草津市国際交流協会会長賞） 「朝の宿場」 西山 秀一

まだ眠っている町中に行く人達。朝の光の温かさが感じられ、空気感がよく出ています。人物の配置も良く、先を急ぐ自転車に乗った人影が印象的です。

イラスト

(審査員) 上原 結子

○総評

今回も様々な作品と出会うことができました。イラストレーションと一口に言っても、表現は多様です。デジタルでの制作も珍しくなくなった今、どのように新しい作品を生み出せばいいのでしょうか。手法の目新しさに頼るのではなく、自分独自のものの見方、とらえ方が大切なのだと、私は思います。自分というフィルターを通してできあがった世界を、ぜひ思い切り表現してみてください。

○優秀賞

「神の国への旅道中」 配川 ちひろ

作者の心の中にあるファンタジーの世界へいざなわれるかのような構図です。人物の表情や仕草、衣装も素敵です。背景がきちんと描き込まれていて、ずっと物語の中に入っていくことができます。背景は世界観を見る人に伝えてくれる大切な要素です。色彩のバランスも良く、丁寧に描き込まれていて、作品に対する作者の愛情も感じられました。この調子で描き続けてほしいと思います。